

香川大学 研究等 支援特定基金について

この度、香川大学では、イノベーション創出の中核となりうる若手研究者、特に学生又は不安定な雇用状態にある研究者への研究等支援を目的として「香川大学研究等支援特定基金」を、香川大学支援基金内部に創設いたしました。

本特定基金は、前述した若手研究者に向けて、研究活動及び活動報告に関する費用、異分野研究者との交流支援などにかかる費用等を負担し、イノベーション創出の種火となるよう若手研究者を支援するものです。

本特定基金への個人からの寄付については、税額控除制度及び、香川県内にお住まいの場合は、住民税控除の対象にもなっております。税制上の優遇措置については、右記香川大学支援基金ホームページにおいて説明しておりますので、ご参照ください。

皆様からのご支援に応えられますよう、香川大学はこれからも地域の拠点として全力で取り組んで参ります。

ご寄附の方法が選べます

■クレジットカードを利用した寄附のお申し込み

ご利用いただけるクレジットカードの種類は下記のとおりです。



■振込用紙を利用した寄附のお申し込み

振込用紙を利用した寄附を希望される方は、メール(kikin@kagawa-u.ac.jp)により、住所・氏名・電話番号をお知らせください。後日、払取扱票を送付いたしますので、お近くの金融機関の窓口からお振込みください。ゆうちょ銀行・郵便局又は百十四銀行・香川銀行から振込まれる場合は振込手数料はかかりません。その他の銀行などをご利用の場合は手数料をご負担いただくこととなります。詳しい情報はホームページからご覧いただけます。

香川大学から感謝を込めて

■ご寄附いただいた方全員

ご了承を得て、ご芳名を大学ホームページ等に掲載し、末永く顕彰いたします。

香川大学支援
基金ホームページ
<https://www.kagawa-u.ac.jp/kikin/>



■個人10万円以上、法人・団体30万円以上寄附された方

感謝状と記念品の贈呈／学長より感謝状と記念品を贈呈いたします。
銘板による顕彰／ご芳名の銘板を学内に掲示し、末永く顕彰いたします。



修学支援事業

コロナ禍を含む経済的な理由で修学が困難な学生に対し、奨学意識がある学生へ奨学金を支給し、修学に集中できる環境整備に取り組んでいます。



香川大学

ご支援いただいた基金は、
このように活用させて
いただいております。



グローバル人材育成

グローバル化が進む地域社会において、問題解決に貢献できる人材育成を目指し、学生の海外留学や海外での調査研究活動、海外からの留学生支援に取り組んでいます。



地域貢献の推進

地域の拠点大学として、地域の文化振興、産業活性化等を目指し、地方自治体、地域の企業、子供たちと連携しながら、大学の「知」を活かす事業に取り組んでいます。



DRI人材の育成

これからの未来に必要な、新たな価値を創造できる人材として、デザイン思考(Design thinking)、リスクマネジメント(Risk management)、インフォマティクス(Informatics)能力を持つ人材育成のための環境整備に取り組んでいます。



若手研究者支援

イノベーション創出の中核となりうる若手研究者へ支援を行います。研究活動に対する支援や異分野研究者との交流支援など、イノベーション創出の種火となる活動を支援します。

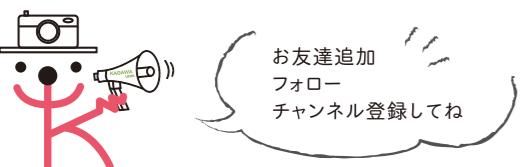


香川大学の最新情報をSNSで発信しています



四季を通じたキャンパスの様子やイベント、そこで生き生きと活躍する学生たちをリアルタイムでSNSに発信、公開しています!ぜひご覧ください。

Facebookはこちらから ▾ Instagramはこちらから ▾ Twitterはこちらから ▾ YouTubeはこちらから ▾



香川大学から保護者の皆様へ



OLIVE通信

香川大学広報室 〒760-8521 香川県高松市幸町1-1 tel.087-832-1027 soumkot@kagawa-u.ac.jp

6

2021.4



副学長
(学生支援・広報・特命担当)
山神 真一

Now or Never ~今しかない~

新入生そしてご家族の皆様、香川大学へのご入学おめでとうございます。

昨年来、これまでコロナ禍で私たちの生活は一変しました。新しい生活様式のもと、感染予防の日々を過ごしてきました。特に受験生にとりましては、先が見えず大学進学への道程は、言葉に表せない心情にあったのではないかでしょうか。それを支えるご家族のご苦労は、はかり知れないものだったと思います。また、昨年度の入学生や在学生は、コロナ禍の真っ只中にあり、授業、サークル活動など、思い描いた学生生活とはいかず、慣れない生活の中で悶々とした日々を過ごしたのではないかと反芻しています。

今年度は、香川大学は、対面の授業を基本とし、特に新入生や新2年生に対しては、積極的に対面方式を行います。さらに大学でのサークル活動についても週4回実施できるようにしており、人との関わりを重視した大学生活ができるよう支援することとしています。

香川大学は、「Now or Never」「今しかない」大学生活、すなわち、学生時代の今しかできない挑戦、香川大学でしか

できない経験を保障する大学として、学部生・大学院生を支援、応援してまいります。その特徴ある活動として、香川大学は、平成30年度より、東京都市圏の芝浦工業大学、津田塾大学、及び東京農業大学と学生交流を主体とした連携協定を結び、国内留学をイメージした短期プログラム(夏休み期間中)と半年間の長期プログラム(単位互換有り)を進めています。昨年度は、コロナ禍であったため、オンラインを活用した対流促進事業を実施し、これまでと違った新しい交流のやり方にチャレンジして大きな成果を収めました。令和3年度は、現地での対面方式のプログラムを中心に計画しながら、状況に応じてオンラインを取り入れたハイブリッド方式も計画しています。香川大学と都市圏の大学との連携事業は、地域を見直す羅針盤となる意義もあり、参加した学生同士の輪が大きくなり、年々参加者が増加しています。

これらの社会は、持続可能な地方分散型社会になると言われています。香川大学は、地方創生に資する人材を育成する魅力ある大学の実現を目指して、“Now or Never”を大切に学生を支援してまいりますので、ご支援・ご協力をよろしくお願いします。